

春の火災予防運動を実施します
3月1日～3月7日
火を消して 不安を消して つなぐ未来

3月1日～3月7日までの7日間にわたり全国一斉に実施される春の火災予防運動に伴い、火災を未然に防止するため本市においても同運動を行います。

令和5年中の四日市市、朝日町、川越町で発生した火災は84件です。このうち建物火災が36件で、主な出火原因は、たばこ、放火（放火の疑いを含む）、たき火になります。大切な命や財産を守るために以下の10のポイントを実施していきましょう！

●住宅防火 いのちを守る 10のポイント

《4つの習慣》

- ① 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ② ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③ こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ④ コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



《6つの対策》

- ① 火災の発生を防ぐために、ストープやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- ② 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③ 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- ④ 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤ お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ⑥ 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

※住宅用火災警報器についての点検方法は四日市市消防本部のホームページでご確認ください

お問い合わせ 四日市市消防本部予防保安課
(☎059-356-2010、FAX:059-356-2041)



四日市市消防本部公式ホームページ

<https://www.city.yokkaichi.mie.jp/syoubou/index.php>

納税は、便利で安心な
口座振替で!!

【お問合せ先】四日市市 収納推進課
Tel 059-354-8141
Fax 059-354-8309



かんざき



発行：令和6年2月20日
神前地区市民センター
☎ 326-2751
FAX 325-2070
団体事務局（13時～17時）
☎ FAX 327-1501

神前地区ホームページ（アドレス kanzaki-yokkaichi.com）もご覧ください。



100歳おめでとうございます！

この度、2月8日に100歳を迎えられた尾平町の榊原美代子様へ百歳敬老訪問として四日市市長からの祝状とお祝い金をお届けしました。

尾平町

榊原 美代子さん



☆これからも末永くお元気で

お過ごしください。



ヘルスリーダー イキイキ教室



楽しく笑って！介護予防！！

対 象： おおむね65歳以上の市民の方
会 場： 神前地区市民センター 2階 会議室
日 時： 3月12日（火）13:30～15:00
内 容： ストレッチ体操、筋トレ、楽器の演奏と歌等
持ち物： マスク、タオル、飲み物（動きやすい服装でお越しください）
その他： 申込み、参加費は不要です。
お願い： ①参加される方は、咳エチケットや手指の消毒をお願いします。
②発熱や咳等の風邪症状がみられる方・基礎疾患をお持ちの方で、感染リスクを心配される方は参加を控えていただくようお願いします。

問合せ： 高齢福祉課 地域支援係 TEL 354-8170

申込み不要
参加費無料

各地区カフェのご案内



◎大日 Café サロン

日 時：3月5日（火） ★毎月第1火曜日 10:00～12:00
場 所：寺方1公会所 協力費：100円

◎カフェ あったかつの

日 時：3月11日（月） ★毎月第2月曜日 9:00～11:30
場 所：高角町公会所 協力費：100円

◎より曾井サロン

日 時：3月14日（木） ★毎月第2木曜日 9:30～12:00
場 所：曾井町公会所 会 費：100円

◎カフェサロン尾平

日 時：3月19日（火） ★毎月第3火曜日 10:00～12:00
場 所：尾平町集落センター 会 費：100円

◎カフェ菅原とおりゃんせ

河津桜・梅の花 花見の会
暖かい甘酒、ぜんざいを準備しています。
日 時：3月3日（日）
場 所：西野橋西側【すがわらみどりの里】
＊雨天時・菅原町公会所



四日市市こども子育て交流プラザへ遊びに行こう！！

TEL：059-330-5020 FAX：059-334-0606

【開館時間】＜第1部＞9:00～12:30 ＜第2部＞14:00～19:00
※小学生以下は17:00まで、中高生は19:00まで利用可能です。各部の間に消毒を行います。その間、施設の利用はできません。

【主なイベント日時・内容】

3月3日 （日）	10:00～ 11:15	よかパパひろば 今回は、お楽しみ会をします。パパートークでは保護者同士交流しましょう。	対象/どなたでも 定員/おおむね15組 （先着順・受付当日9:00～）
3月17日 （日）	10:00～ 11:30	手形カードをつくろう 家族で手の大きさをくらべをしよう。お子さんの成長記録にもなります。（1家族1枚）	対象/どなたでも 定員/当日先着15組 （受付9:00～）
3月23日 （土）	10:30～ 11:00	えほんのひろば おはなしとわらべうたであそびましょう。	対象/どなたでも 定員/当日先着10組 （受付9:00～）
3月25日 （月）	14:30～ 16:00	簡単！毛糸のシュシュ ストローを使って、シュシュをつくろう。	対象/小学生 定員/当日先着10名 （受付14:00～）

【料金】 無料※行事の内容等を変更する場合があります。開館状況、イベント実施状況など詳しくは、ホームページをご覧ください。電話にてお問合せください。

令和5年度多文化共生講演会 開催のお知らせ

日本に滞在する外国人は近年増加の一途をたどり、本市に暮らす外国人市民も同様に、2023年12月現在で約12,000人と過去最高を更新しました。

今回の講演会は移民・難民を中心に、国際関係の研究を行っている東京大学特任助教をお迎えし、今後の多文化共生について考える機会となるよう、これまでの研究や自身の体験を交えてお話しいたします。

- テ ー マ これからの日本のカタチ ー多文化共生のその先へー
- 講 師 ちあき 土田千愛／東京大学地域未来社会連携研究機構三重サテライト特任助教
- 開催日時 令和6年3月19日（火） 18:30～20:30 （質疑応答を含む）
- 場 所 四日市市総合会館 8階 視聴覚室
- 参加費 無料
- 申 込 み 令和6年3月15日（金）までに電話、ファクス、メール、または下記URLの応募フォームからお申込みください。
<https://logoform.jp/form/7p72/474929>
- 問 合 せ 四日市市 市民生活部 市民生活課 多文化共生推進室
電 話 059-354-8114
FAX 059-354-8316
メール kyouseisuishin@city.yokkaichi.mie.jp



神前地区各校園 卒業式・卒園式のご案内

ご卒業・ご卒園 おめでとうございます。

3月 1日（金） 四日市中央工業高校・四日市商業高校

3月 7日（木） 三滝中学校・三重平中学校

3月19日（火） 神前小学校・三重西小学校

3月21日（木） 三重西幼稚園・神前こども園



同推協のつどい（設立 50 周年記念）が開催されました



2月4日（日）、立春の穏やかに日に、寺方児童集会所において、第29回神前同推協主催「同推協のつどい」が開催されました。

来賓の山内県議、川村市議、市の人権・同和政策課の西川課長をはじめ、各町自治会長、地区内小中園の校園長教頭先生、地区各団体会長、一般啓発委員さん方、総勢81名の方々が参加して行われました。

近藤会長が「神前同推協設立50周年記念誌発行」によせた基調となるあいさつをされ、来賓の方々も次々にあいさつをされました。（川村市議から私たちに一つの問題提起がありました。詳しくは「同推協だより」をご覧ください。）

あいさつに続いて、自治会代表として寺方町1区の活動報告がありました。寺方町1区では、地区懇談会でDVDを視聴後に感想を話し合ったり、部落問題への今の想いを話し合ったりされたそうです。その中で、今の自分の考えが「何かおかしいのではないか」と気づかれた方が多くみえたそうです。

団体としては、三重平中学校PTAさんが代表として、その取り組みを発表されました。1年を通して人権問題に取り組むために、学校の「平っ子タイム」を体験したり、様々な講師先生（ヒューリアみえの安田先生、日本LGBT協会の清水先生等）からお話を聞いたりして学び、最後に懇談会をして「自分の中にある差別心」に気づき、互いの人権意識を高め合ったりしてきたことを報告されました。

次は、神前小学校2年生の人権学習の発表報告でした。自分が生まれてきてからの様子や、自分の名前に込められたお父さんお母さんの願い、周囲の方々の支えを知ること、一人一人が大切な命を持って生まれてきていることに気づく学習でした。

最後に神前同推協企画部さんによる人権劇「ある日の企画部会議」が発表されました。「地区に友達がいるから差別していない。」というある人の発言から、「その言葉何かおかしいことない？」という疑問が出され、企画部会議で話されたことが劇として発表されました。

【参加者の感想】○今日も自分を振り返る時間になり、とても良い時間でした。川村市議の話で「心の準備が必要」というのがとても腑に落ちました。懇談会の参加、勉強することは大事だというのがすごく実感できました。
○前から「気にしていない。」という言葉は真剣に考えていないと思っていましたが、啓発劇でその発言に対してどう考えて行くのか、たくさんヒントをもらいました。地区懇談会でも参考になると思います。

神前地区同和教育推進協議会

『料理教室』開催のお知らせ

楽しく料理をしながら、健康な体づくりをしましょう。
みなさんお誘い合わせの上、ご参加ください。

- ★ 日 時：3月15日（金）10：00～13：00
- ★ 場 所：神前地区市民センター 2階 料理室
- ★ 内 容：減塩料理
- ★ 参加費：600円
- ★ 定 員：24人（定員になり次第、締め切りとなります）
- ★ 講 師：神前ヘルスメイト
- ★ 持ち物：エプロン・三角巾・ふきん・台ふき
- ★ 申込み：3月8日（金）までに
神前地区市民センター TEL326-2751 へ



始めよう！「ローリングストック」

ローリングストックとは？

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足しておくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法をローリングストックと言います。



なぜ食料を備蓄しておく必要があるのか？

災害が発生してから支援物資が届くまでに3日はかかると言われています。そのため、1人3日分×家族の人数分を用意する必要があります。

災害は必ずやってきます。いざというときに少しでも不安を和らげるためには、日頃から食料品等の準備をしておかなければなりません。

四日市市中消防署中央分署
TEL325-4717

「第7回婚活イベント」のお知らせ ～婚活初心者大歓迎！じっくり1対1トーク婚活～

■日 時：令和6年3月17日（日）午前9時30分～午後5時30分

	時間
第1部	9時30分～11時30分
第2部	12時30分～14時30分
第3部	15時30分～17時30分



■場 所：ラ セーヌ マリアージュ四日市（四日市市伊倉一丁目）

■対 象：市内に在住、または在勤するイベント当日に20～39歳の独身男女

	対象年齢
第1部	33～39歳
第2部	28～35歳
第3部	20～30歳

■内 容：じっくり1対1トークで価値観をマッチング。

フリードリンクとスイーツで素敵な時間を楽しんでいただきます。

■定 員：各部20人（男女各10人） ※応募多数の場合は抽選

■参加費：1,500円 ■服 装：男性はジャケット着用、女性はスマートカジュアル

■その他：参加者を対象にした事前ガイダンスあり（3月14日（木）午後7時）

■申込み：四日市マリッジサポート事務局 専用ホームページの応募フォームから

<申込期間>令和6年3月7日（木）午後5時まで

四日市マリッジサポート事務局

（四日市市安島一丁目 トナリエ四日市4階 （株）デルタスタジオ内）

☎ 355-1320 FAX 355-1321

専用ホームページ [https:// yokkaichi-marriagesupport.jp](https://yokkaichi-marriagesupport.jp)

担当課：こども未来課 ☎ 354-8038



かんざき文庫に新刊が入りました



東京都同情塔

ともぐい

八月の御所グラウンド

くもをさがす

ブラック・ショーマンと覚醒する女たち

九段 理江

河崎 秋子

万城目 学

西 加奈子

東野 圭吾

*平日8：30～17：00まで図書を貸し出しています。

お一人につき1回5冊（新刊は2冊）まで借りることができます。

貸出期間は2週間です。ぜひお立ち寄りください。

神前地区市民センター

子育て広場 杉町先生と恒例の親子体操で汗だくでした。



2月7日（水）、人権プラザ神前会議室で、杉町先生をお迎えして「親子体操」を行いました。7組14名の親子さんが参加してくれました。日頃運動不足のお父さんお母さん方もフーフー言いながら、子ども達を膝に乗せたり、お腹に乗せて上下させたりと、しっかり運動してみえました。この時期（未就園の年代）の子ども達には、親御さんが目と耳と体で寄り添いながら、いっしょに遊ぶことが一番の運動になるようです。

杉町先生曰く、

「子どもと親子で遊べるのは今だけ、十分にスキンシップをしてください。」
「遊びの中で、子ども達に危ないときにどうするのか、どのように体を使うのかを伝えてあげましょう。」



来年度も杉町先生にお世話になるようにしたいと思います。機会がありましたら是非参加してみてください。

3月は、7日（木）に「みんなでお散歩」をします。暖かい日だとよいと思います。ご都合よければ参加してください。

神前地区民生委員児童委員協議会

バレンタインハウス「お菓子の家」を作りました。



2月4日（日）、神前地区市民センターで「お菓子の家づくり」が行われ、17組の親子（総勢24名）の方に参加してもらいました。

今年は、2月ということで「バレンタインハウス」という名前の「世界に一つの自分だけのお菓子の家」を作ることとしました。

日にちは違いますが、毎年恒例となった「お菓子の家づくり」に毎回参加してくれる方もみえます。



講師の山本

先生（団体事務局職員）に作り方を教えてもらい、あとは自分で考えた飾りや模様をお菓子の家にくっつけて、自分だけのハウスを作りました。子ども達の想像力は素晴らしくて、本当にユニークな家がたくさん出来上がりました。来年は何という名前のお菓子の家を作るのかな。またお知らせしますので、ぜひ参加してください。

神前地区市民センター

まちづくり構想策定に向けた研修会を行いました。



2月10日（土）、神前地区市民センター会議室において、第1回まちづくり研修会が行われました。

今年度、10年後の神前地区を目指した「新たなまちづくり構想」策定に向けて設立された「まちづくり部会」は、昨年秋に「まちづくりに関するアンケート」を実施し、神前地区住民の方々の現在の想いをお伺いしました。

その結果を来年度の部会活動にどのように活かしていったらよいのかを考えるうえで、「まちづくりとは何か?」「なにから、どのように進めていけばよいのか?」という基本を見直そうと、講師先生をお迎えして研修会を実施しました。

一番大切なことは、住民の方々の「気運」を盛り上げることだと学びました。部会の方々は、これから先の神前地区が「今よりもっと住みやすく、安全で安心できる、夢と希望の持てる町」にしたいと考えています。この想いを住民の方々に伝えて、いっしょにまちづくりに取り組んでいただける方をどんどん増やしていくことが大切だと教えていただきました。

【部員の感想（一部抜粋）】

- ・今回初めて先生の話聞かせてもらい、もう一度部会の活動を見直すことができました。ハード、ソフトの両面で考えようと思います。すぐにできそうなのはソフト面かな。住民の方々のアンケートをもう一度見直そうと思いました。
- ・神前地区全住民に意識してもらえるような活動に取り組んでいきたいと思いました。
- ・神前地区としては、すでに様々な団体が活動されています。それぞれが、実施する側と参加する側双方のニーズに合致しているかどうかを評価することから始めるのが良いと思います。
- ・神前地区内の企業さんにも協力いただいて、地区内のまちづくり活動を進めてはどうだろうか。
- ・住民の高齢化と忙しい現代人のためにも、様々な活動で「PDCAサイクル」を考えながら進めていきたいと思います。

部員の方々は、積極的に取り組もうと意欲満々です。ぜひ地域の方々もご支援、ご協力をお願いします。

これからの社会全体の傾向として「少子高齢化」が言われており、それは神前でも例外ではありません。それに伴って、地域での子どもの居場所づくりや子育て支援、地域での高齢の方々を含めての買い物難民、通院困難者、認知症サポート等様々な問題がどんどん増えてくると思います。行政に支援してもらうにも限度があります。

地域でできることは、今から準備し計画していかなければならないと考えています。

これからも、まちづくり部会は、よりよい神前のために様々な提案をしていきたいと考えています。ぜひご意見をいただきたいと思います。



神前地区地域社会づくり推進委員会 まちづくり部会

今年度最後の里山整備活動を行いました。



2月11日（日・祝）、今年度最後の里山整備活動が区内各地で行われました。

里山を守る会の方々は、寺方町の大日山。菅原町自治会は市民緑地「とおりゃんせ」、尾平町自治会は小溜池公園とその周辺の整備活動を行いました。

参加された方々、ご苦労様でした。

里山は神前の宝です。自然、特に里山は、人が手を加えていかなければなりません。これからも地域全体で取り組んでいきましょう。

大日山では、主に3月3日（日）の地区内小学校6年生「卒業記念植樹」のために、植樹場所の整備と雑木の焼却を行いました。（もちろん焼却に際しては、消防署に届け出ています。）

大日山の散策路は、数年来の卒業記念植樹の木々でいっぱいになってきました。主に「山桜」が多いので、春にはきれいな花を咲かせてくれると思います。

来年度も春から整備作業が続けられます。地域の方々の参加をぜひお願いしたいと思っています。神前の里山は、神前に住む私たちが守っていきましょう。



神前里山を守る会

能登半島地震の教訓 ～ 神前地区の防災対策は ～

令和6年1月1日に能登半島で発生した「能登半島地震」は未だに大きな深い傷跡を残しています。私たちは、被災した方々から何を学ぶことができるのでしょうか？

「今回の地震では、助けを求めている被災者のところに救援隊がすぐに駆けつけことができなかった。これが大きな反省点だったと思います。」（室崎神戸大学名誉教授）

この教授の言葉は私たち経験が少ない者にとって、とても大きな警鐘だと思います。

被災時は「自助」「共助」「公助」が言われますが、教授は、「公助」について言われているように思います。ですから、私たちは「自助」と「共助」を充実させなければなりません。

「自助」は、「普段の備え」が中心になると思います。自分及び家族が被災した時の状況を想像し、いかに「被害」を少なくするか考え、「備え」しておくことです。被災した後は、その「備え」を活用して生き延びることに努力します。

「共助」は、「普段のつながり」が中心になると思います。私たち一人一人は、「救助救命の専門家」ではありません。だから、「命を救う」ことはできません。しかし、「命を永らえる支え合い」はできます。「支え合う」には「心のつながり」が必要です。復旧活動でも、避難所での生活でも、互いを思いやる支え合いが大切、必要になります。一人（一家族）では、被災後生き延びることはとても難しいものです。「共助」は「つながっていてこそ」できるものです。

私たちの災害対策は「普段の行動」が全てです。「神前地区から、災害死（関連死を含む）を出さない。」これが神前自主防災協議会の合言葉です。

神前地区自主防災協議会